

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)																		
ET45H016		障害児心理アセスメント演習(Seminar in Psychological Assessment for Children with Special Educational Needs)					特別支援教育																		
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員																			
選択	2	1	大学院教育学研究科	後期		氏名 佐藤 晋治 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 7531																			
授業の概要	読みに困難のある子どもの理解と指導について、知能のPASS理論と DN-CASから学ぶ。																								
具体的な到達目標																DP等の対応(別表参照)									
目標1 読みに困難のある子どもの理解を、知能のPASS理論とDN-CASによって説明することができる。																1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標2 読みに困難のある子どもの指導計画を、知能のPASS理論と DN-CASから立案することができる。																									
目標3																									
目標4																									
目標5																									
目標6																									
目標7																									
目標8																									
目標9																									
目標10																									
授業の内容																									
1 読みの得意・不得意																									
2 童謡から音韻的符号化へ																									
3 読みの発達段階																									
4 知能から読みを説明する																									
5 読み理解																									
6 単語を綴ることと書くこと																									
7 理論と実践																									
8 COGENTプログラム：読みの準備を始める																									
9 COGENTの概要：プログラムのモジュール																									
10 COGENTの研究：初期のエビデンス																									
11 読みのレディネスはどのようにして働くのか？ COGENTに触れる																									
12 PREP:PASSモデルに基づく治療教育プログラム																									
13 単語と絵を用いたPREPの実際																									
14 実践研究																									
15 今後の展望、読みに関する現代的な視点の統合																									
ラック	A:知識の定着・確認	演習,小テスト,小レポート,予習,復習,宿題,調べ学修(論文,書籍,インターネット等)					工夫 その 他の	動画の活用, LMS(Moodle)の活用																	
ニテ	B:意見の表現・交換	プレゼンテーション,学びの省察,																							
ンイ	C:応用志向	ロールプレイ																							
ゲ	D:知識の活用・創造																								
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	Moodleに掲載された講義資料を事前に予習し,必要に応じて,論文,書籍,インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。																							
	事後学修	講義で学習した内容を振り返り,講義で扱った内容や関連する課題について論文,書籍,インターネット等により「調べ学修」に取り組むこと(1週あたり90分)。																							
教科書	J.P.ダス(著)前川久男・中山 健・岡崎慎治(訳) 2009/2014 読みに困難がある子どもの理解と指導:知能のPASS理論とDN-CASから 日本文化科学社 または, J.P.Das 2009 Reading difficulties and dyslexia:An interpretation for teachers. SAGE																								
参考書																									
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10													
	試験	60%																							
	討論への積極的な参加	20%																							
	小レポート	20%																							
注意事項	前学期「障害児心理アセスメント特論」の授業展開によっては内容等の変更もあり得る。 また,講義内でMoodleを使用することがあるので,Moodleを閲覧できる媒体(スマホ,タブレット端末,ノートPCなど)を持参すること。また少なくとも週に1度																								
備考																									
リンク																									
	URL																								

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の実務 経験	臨床心理士